第 139 回　帝国主義時代のヨーロッパ①

1　帝国主義とは何か？

・19 世紀の後半以降、欧米列強は、世界中に植民地や自らの勢力圏を獲得していった。
　→この動きを（　　）といい、欧米列強の利益や価値観が押しつけられた。

①最初の産業革命につづき、1870 年代に（　　）が起こった。

	＜第１次＞	＜第２次＞
動力…	石炭・蒸気 ⟶	（　　）・（　　）
産業…	軽工業・製鉄業 ⟶	（　　）・（　　）・金属工業

↓

②工業設備を整えるには巨額な資本が必要であり、（　　）や（　　）を行った少数の大企業が、市場を独占した。
　→また多様なジャンルを含む企業グループである（　　）を形成した。
・このような市場を独占する少数の大企業を、（　　）という。
　→一部の大企業は銀行などと密接に結びついて、（　　）を形成した。

↓

③1870 年代以降、金融危機と農業不況により世界的な（　　）となった。
　→弱小企業は巨大企業に吸収合併されていき、さらに資本の集中が進んだ。
　→また物が売れないため、海外に（　　）を獲得することで、原料の確保、（　　）の拡大、国外投資（資本輸出）を行おうとした。
　→欧米列強は次々にアジアやアフリカに進出し、植民地帝国を形成していった。

④鉄道、蒸気船、電信の普及は、ヒト、モノ、情報の移動を劇的に促す結果となった。
　→労働力として、多くの（　　）が新しい場所へ移動していった。

2　帝国主義と大英帝国

ヴィクトリア女王
1837 年に 18 歳で即位し、なんと 64 年の長きにわたってイギリス女王の地位にあった。

・イギリスは、一早く産業革命（第１次）を成し遂げ、圧倒的な工業力と海軍力を背景にして「　　」と呼ばれる繁栄を経験していた。
　→19 世紀前半は「　　」と呼ばれる。
　→特に（　　）の時代は、イギリスの黄金時代とされている。

・1851 年、ロンドンで（　　）を開催し技術力を見せつけた。
・この時代、トーリ党は（　　）へ、ホイッグ党は（　　）へ再編され、二大政党による議会政治が展開された。

◆ダービー（第３次）（保守党）（在任 1866～1868 年）
・1867 年、（　　）が行われ都市の労働者に選挙権が与えられた。

◆（　　）（第１次）（自由党）（在任 1868～1874 年）
・1870 年、小作人保護のためアイルランド土地法が成立した（1880 年にも）。
・1870 年、（　　）によって初等教育の整備がはじまった（後に義務教育）。
・1871 年、（　　）によって、労働組合が正式に認められた。

◆（　　）（第２次）（保守党）（在任 1874～1880 年）
・最重要植民地である（　　）の安全を確保するため、数々の政策を行った。
・1875 年、ユダヤ財閥（　　）の融資で（　　）した。
・1877 年、ヴィクトリア女王を皇帝とする（　　）を成立させた。
・1878 年、ロシア=トルコ戦争に干渉し、（　　）へ参加した。

4度にわたって首相を務め、GOM（Grand Old Man）と呼ばれて国民に人気があった。イギリス史を代表する首相である。
自由党のグラッドストン

ディズレーリが、なぜユダヤ財閥から大金を借りることができたのか。それは彼のルーツに関係がある。
保守党のディズレーリ

1869 年にフランスの指導で開通。21 世紀の今日においても、世界で最も重要なシーレーン（海上交通路）である。
開通当時のスエズ運河と現在のスエズ運河

◆（　　）（第２～４次）（自由党）（在任 1880～1885、1886、1892～1894 年）
・1884 年、（　　）が行われ、農村や鉱山の労働者にも選挙権が与えられた。
・アイルランド問題では、1886、1893 年の２回にわたり（　　）が提出されたが、成立しなかった。
→1905 年には、アイルランドの独立を強硬に主張する（　　）が結成され、独立運動が激化した。

3　19 世紀後半から 20 世紀初頭の大英帝国

・19 世紀末になると、ヨーロッパの大不況や、（　　）・（　　）の躍進により、イギリスは「世界の工場」ではなくなった。
→莫大な富を各地に投資し、「　　」となることで影響力を維持した。

・植民地相（　　）は、イギリス植民地会議（後にイギリス帝国会議へ改称）をたびたび開いて、植民地との連携強化をはかった。
→植民地不要論や財政負担の軽減のため、（　　）となる植民地もあった。
※1867 年に（　　）、1901 年に（　　）、
1907 年に（　　）、1910 年に（　　）

シティ（The City of London）は、ロンドンの中心部にあり、イングランド銀行が建てられている。現在も世界の金融の中心である。
ロンドンのシティ

グラッドストンのアイルランド自治法案に反対して自由党を分裂させ、保守党内閣に植民地相として入閣した。息子のオースティンとネヴィルも有名な政治家。
ジョゼフ=チェンバレン

どちらも大英帝国の旗が国旗に入っている。
どこの国の旗かわかりますか？
上の旗は、現在でも使っています。